



第38回円通塾

出光佐三と仙厓和尚

2013年の第10回本屋大賞を受賞した百田尚樹氏の「海賊とよばれた男」は、出光佐三をモデルにしたノンフィクション歴史経済小説で、多くの人々に感動を与えました。その出光佐三の美術品収集は、19歳時の仙厓『指月布袋画賛』に始まり、没年95歳時の仙厓『双鶴画賛』に終わっています。その多くの収集品の中で、代表的な作品にして解釈に定説のないのが「○△□図」です。

今回は、この出光佐三と密接不離の「○△□図」を中心に、普門円通禪師（勅諡号）と称された仙厓和尚の説くところに迫ります。そのなかで、白隠禪師との比較、真の経済人とも言える出光佐三との関連について述べます。

また、日常生活に活かせる、仙厓和尚・白隠禪師共通の観音に関する呪文の効果を実体験・実体感していただきます。

- ①海賊と呼ばれた男 国岡鐵造（出光佐三）
- ②仙厓和尚の「○△□図」の解釈
 - i) 鈴木大拙その他、専門家の解釈
 - ii) 六角田中医院独自の解釈
- ③白隠ワールドと仙厓ワールドの対比
- ④経済（経世済民）と政（まつりごと＝祭事＝奉事）
- ⑤一流の経営、一流の政治家とは
- ⑥かつて「経済は一流、政治は三流」と言われた理由

日時：10月18日（土）

午後2時30分～4時

場所：六角健康サロン

☎075-253-3777

参加費：2000円

